

受講者が急増した幼稚園免許科目の分析

幼児教育講座・深田昭三

1. 分析対象とした授業

本報告では、2 回生科目の「言葉の指導法」を分析対象として取り上げた。この科目は、幼稚園教育要領における領域「言葉」の指導法を取り扱う科目であり、幼稚園 1 種免必修・2 種免選択の科目であり、幼年教育専修及び保育士コースの必修科目でもある。

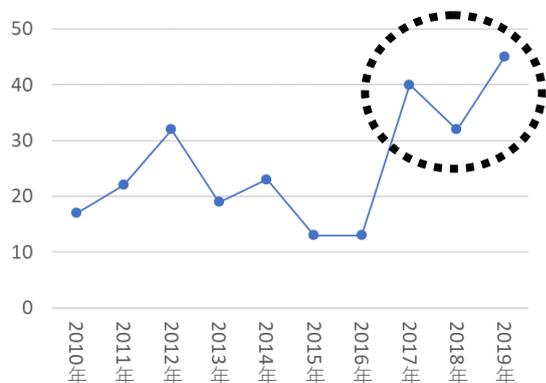


図 1. 2010～2019 年度の受講者数の推移

2010 年度以降の受講者数は図 1 のとおりである。近年おおむね 20 人程度の受講生で推移してきたが、小学校サブコースの学生が 2 回生に進学した 2017 年から 40 人、32 人、45 人と受講者数が急増し、それ以前と比べて、おおむね倍増のレベルになっている。

受講生の内訳は表 1 のとおりである。今年度で見ると、小学校サブコースの 1/4 強、特別支援教育教員養成課程の 1/2 弱の学生が受講したこととなる。

表 1. 受講生の内訳

課程	コース	サブコース	2回生	3回生	4回生	計
学校教育 教員	初等教 育	幼年教育	6	1	0	7
		小学校	19	7	3	29
	中等教育	0	0	0	0	
特別支援教育教員			9	0	0	9
合計			34	8	3	45

2. 授業の成績

受講生数が増えたことによる成績の変化を確かめるために、受講生が増える前の 2014～2016 年度と、受講生が増えた後の 2017～2016 年度の成績を比較して、その結果を表 2 に示した。

表 2. 平均評点と評価分布

年度	受講生数 (平均)	評点 (平均)	評価（パーセント）			
			秀	優	良	可
2014-2016	17.3	80.6	6%	60%	21%	13%
2017-2019	38.7	84.3	19%	66%	14%	2%

その結果、2017～2019 年度では受講生数が 2014～2016 年度約 2.2 倍になっているにもかかわらず、平均評点が 3.7 点高く、また評価「秀」が 13 ポイント多く、評価「可」が 11 ポイント低いという結果であった。

このことは受講生増が、受講生の質の低下や授業内容の質の低下をもたらすのではなく、より向上させた可能性もあると言えよう。

3. 授業評価の結果

授業評価アンケートには「授業の各側面についての評価」10 項目と、「授業の工夫点への評価」6 項目が含まれていた。これらの項目では「①強くそう思う」から「⑤全くそう思わない」の 5 件法で尋ね、数値が高い方が肯定的になるように数値の向きを逆転させた。

この評価項目への 2017 年度から 2019 年度にかけての変化を図 2 と図 3 に示した。項目によって若干の違いはあるが、平均の評定ポイントは「授業の各側面についての評価」では 4.6、「授業の工夫点への評価」では 4.5 であり、ととても高い評価を得たと言えよう。

年度間比較では、2017 年度に比べて、2019 年度では「進度時間」（授業の進度および毎回の授業における時間配分は適切だった）が 0.54 ポイント下がり、「Show & Tell」についての評価が 0.36 ポイント下がっていた。今年

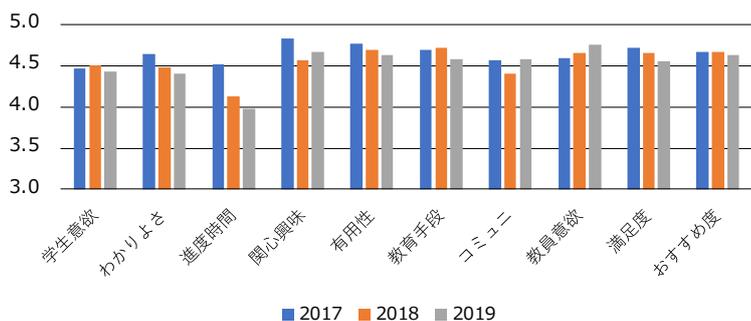


図 2. 授業の各側面についての評価

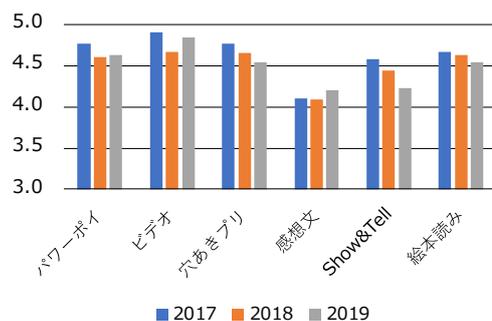


図 3. 授業の工夫点への評価

度は 45 人と近年では最も人数が多い年であったため、Show & Tell に割く時間が例年よりさらに長くなったことが、評価値が下がった原因かもしれない。

4. 授業評価の各項目間の相関

2017 年度から 2019 年度に行ったアンケートの回答を合併したデータ ($n=110$) を用いて、項目間の相関を求めた結果を表 3 に示した。ここでは、先の 16 項目に加え、出席回数と予習復習の時間の長さも分析に加えた。

「満足度」や「おすすめ度」は多くの項目と関係が深いものの、とりわけ「授業内容や説明のわかりよさ」「メディアなどの教育手段の工夫」「将来の進路、人生にとっての有用性」「教員の意欲・熱意」などの項目との相関が

とても高かった。また「授業の工夫点」の中では「毎時間の感想のフィードバック」との相関も高かった。

一方で、「学生の意欲」「出席回数」「予習復習の時間」の 3 項目は、他の項目とあまり相関が高くなく、「学生の意欲」と「出席回数」の相関のみで高い係数が得られた。

5. 地域社会を核とした教育と研究のつながりについて

本授業では、附属幼稚園との共同研究で得られた成果や、同園や地域の幼稚園等で行われた保育実践などを、事例として機会があるごとに紹介した。また、学生が他の学生に披露する Show & Tell では、生まれ育った地域での経験を紹介する学生も少なくなかった。

表 3. アンケートで用いた各項目間の相関係数

	学生意欲	わかりよさ	進度時間	関心興味	有用性	教育手段	コミュニ	教員意欲	満足度	おすすめ度	パワーポイント	ビデオ	穴あきブリ	感想文	Show & Tell	絵本読み	出席	予習復習
学生意欲	1	.36	.17	.28	.27	.20	.05	.07	.30	.31	.17	.07	.21	.25	.18	.22	.52	.20
わかりよさ		1	.40	.44	.46	.38	.33	.36	.71	.58	.42	.22	.35	.49	.40	.30	.14	.21
進度時間			1	.32	.28	.29	.37	.26	.34	.36	.38	.10	.36	.25	.48	.36	.07	.17
関心興味				1	.56	.34	.21	.24	.34	.42	.57	.48	.48	.38	.30	.26	-.05	.14
有用性					1	.51	.26	.34	.47	.44	.47	.24	.43	.34	.15	.12	-.06	.10
教育手段						1	.29	.32	.54	.45	.48	.29	.34	.39	.38	.28	.04	.10
コミュニ							1	.41	.36	.44	.38	.18	.26	.35	.25	.28	.12	.11
教員意欲								1	.47	.40	.35	.15	.27	.39	.29	.22	-.06	-.02
満足度									1	.72	.36	.22	.25	.47	.41	.39	.12	.21
おすすめ度										1	.44	.29	.31	.41	.37	.34	.06	.16
パワーポイント											1	.54	.56	.47	.27	.21	-.02	.10
ビデオ												1	.35	.46	.18	.24	-.02	.20
穴あきブリ													1	.44	.25	.21	-.02	.15
感想文														1	.31	.28	.19	.20
Show&Tell															1	.73	.18	.02
絵本読み																1	.25	.10
出席																	1	.19
予習復習																		1

注： $r > .4$ の項目に網掛けをして示した。